

講師のご紹介



高井陸雄（たかい りくお）

東京工業大学「ぐるなび」食の未来創成寄附講座特任教授

東京大学工学部工学系研究科博士課程修了。東京水産大学教授、副学長を経て、東京海洋大学初代学長。食品の冷却・冷凍・貯蔵システム、食品および生体の貯蔵技術等、食品冷凍学を研究。東京海洋大学名誉教授。



針原寿朗（はりはら ひさお）

農林水産省大臣官房総括審議官

1980年農林水産省入省。内閣官房内閣参事官、農林水産省大臣官房予算課長、林野庁森林整備部長、同林政部長等を歴任後、2009年1月から現職。農林漁業者の減少、経済のグローバル化への対応等農林水産業を巡る厳しい情勢の中で、新しい食料・農業・農村基本計画の策定、戸別所得補償制度の創設など、農林水産全般にわたる基本政策の企画立案を担当。また、六次産業化、技術・環境政策の推進等農業の成長産業化に向けた施策にも積極的に取り組んでいる。



篠崎 聡（しのざき さとし）

株式会社前川製作所 技術研究所 副所長

東京農工大学大学院工学研究科修了後、(株)前川製作所入社。植物バイオ関係の研究開発に従事。(株)前川製作所は、産業用冷凍機を中心にガス圧縮機の製造・販売で世界トップシェアを占める。食と農への先端技術の導入による新産業創出を志向しており、現場の潜在的なニーズを抽出する手法から、鶏肉の自動脱骨ロボット「トリダス」の開発・製造販売やイチゴ自動収穫ロボットの開発等、工学分野と農業・食品分野との融合領域で様々な技術を開発中。



松浦晃一郎（まつうら こういちろう）

前ユネスコ事務局長

1959年外務省入省。経済協力局長、北米局長、外務審議官、駐仏大使等を歴任。1999年にアジアで初めてユネスコ事務局長に就任。文化、科学、文明間の対話等の分野における国際協力により、仏リヨン大学をはじめ50以上の名誉博士号を受領。世界190カ国の食を体験し、食への深い造詣を持つ。著書に、「ユネスコ事務局長奮闘記」、「世界遺産」、「アフリカの曙光」等多数。現在、世界ペア基協会会長等。